

子どもたちが安心して暮らすことができる 原発に頼らない地域づくりに向けての要望書

日頃より、県民のこと、日本有数の産業県である愛知のこと、そして次世代の子どもたちのことを考えた県政運営をして下さりありがとうございます。

大村知事が、5月9日に直ちに「愛知県電力・エネルギー対策本部」を設置され、その中の一つの方針として、新エネルギーの普及拡大に資する施策の推進を図っていくという点に、大いに共感し、嬉しく思っています。

菅首相の要請を受け、安全対策として新たな防波堤が完成するまでという条件付ではありますが、浜岡原発の全て原子炉が運転停止されたことを、原発頼らない社会への第一歩として受け止めています。

福島第一原発事故により、原発周辺地域の人たちは、そこで暮らし、働き、日々のあたり前の生活を営んできた場所を失いました。今なお、福島やその周辺の人々は放射性物質を不安に感じる日々を過ごしています。

特に、成長期の細胞分裂が盛んな赤ちゃんや子どもたち、そして妊婦やその胎児は、放射性物質に影響されやすいため、今後の健康被害をとっても心配しています。これからの未来を生きる子どもたちのために、すこやかに成長し、のびのびと遊び、いきいきと学ぶことができる、あたり前の安全で安心な社会を残してあげたいと願うばかりです。福島の悲劇を、再び繰り返してしまうかもしれない可能性は、私たちも努力し、無くしていかなければいけません。

数年後に浜岡原発の再開が認められ、万が一事故が起きた場合、愛知県を含む東海地域だけではなく、関東の都市圏にも多大な被害が及ぶでしょう。経済の大動脈であるこの地域一体が被災すれば、私たちの日々の暮らしは失われ、何より、子どもたちの未来までを奪ってしまうことになるでしょう。

以下のことを国、電力会社、そして東海地域全体で取り組んで下さるようお願い申し上げます。

1. 原発に頼らない安心・安全のまち、エコタウン愛知県作り

- ・国、中部電力などに、浜岡原発の廃炉への働きかけをして下さるようお願いいたします。
- ・愛知県をエコタウンにし、「原発に頼らない安心・安全のまち」を、日本国内だけでなく世界に向けて発信して下さい。

2. 浜岡原子力館などにおける、原子力と原発についての正しい知識の普及

- ・これまで、同館においては原子力のメリットを主に説明されてきました。スリーマイル島、チェルノブイリ、福島それぞれの事故をしっかりとふまえ、原子力と原子力発電についての危険性について説明をしてもらえるよう中部電力に働きかけて下さるようお願いいたします。

3. 中部電力と協力し、愛知県内の保育園・幼稚園、学校、大気、水道水、海水、畑の放射線量のモニタリングポストの設置とデータの公開

- ・保育園、幼稚園、学校場合、プール、大気(地表から50cm、1mの高さ)だけでなく、水道水、地表が計測できるようなモニタリングポストの設置をお願いします

4. 原発震災の際の現実的な避難・対処マニュアルの作成と迅速で正確な情報公開

- ・緊急時、すみやかに乳幼児、児童、生徒がヨウ素剤を服用できるよう保管場所と配布方法の検討をお願いします。
- ・市民への迅速かつ正確な情報公開をして下さるようお願いいたします。

5. 愛知県の受け入れ予定の震災の瓦礫についての情報公開

- ・4月末に大村知事が表明された宮城県の瓦礫について、処理方法、処理施設の場所、放射線量の測定の実施と関連する情報について県のHP等で情報公開をして下さるようお願いいたします。

6. 地元企業や市民と協力し、地産地消の再生可能エネルギーの開発と推進

- 一般市民のみなさんからの出資をもとに、地域ぐるみの温暖化防止と自然エネルギーを普及する形
(例)おひさまファンド <http://www.ohisama-fund.jp/>

私たち母親は愛知県とともに放射性物質のことを学び、また電気の使い過ぎに注意するなど市民としてできることをしていきたいと思えます。私たち市民は、大村知事が市民の命を第一に考えて、『原発に頼らない安心・安全のまち作り』に取り組んで下さるのなら、大村知事を支持し、心から応援いたします。

いのちを守るお母さん全国ネットワーク東海支部
原発に不安を感じるママの会
おひさまママ
STOP! 浜岡原発